

Q&A ワクチン補助とオンライン英会話、姫新線の利用改善を提案しました



畑山 剛一 議員
TAKAKAZU HATAYAMA



RSウイルスワクチン接種及び帯状疱疹ワクチン接種について

問 RSウイルスは赤ちゃんや高齢者が罹患すると肺炎など重症化を招く。任意接種で全額自己負担となる、ワクチンの接種費用補助に取り組んではどうか。

答 市民の健康寿命の延伸のためにも、「RSウイルスワクチンの予防接種」の助成についても調査研究していく。

問 これまで通り50歳代の带状疱疹ワクチン接種の補助を続けていくべきではないか。

答 来年度以降は、65歳からの定期接種として実施することとしており、今後任意接種となる50歳以上の

症状

高熱
38℃以上の発熱

鼻水
咳などの呼吸器症状
重症化するとゼーゼー、ヒューヒューといった喘息や
陥没呼吸、呼吸困難も

RSウイルス

ウイルス
RSウイルス

潜伏期間
4～6日

感染経路
咳やくしゃみによる
「飛沫感染」「接触感染」

方については、本年度内に接種して頂くように広報活動を行っている。

小・中学校へのオンライン英会話の導入について

問 オンライン英会話は、マンツーマン指導によりスピーキング力を強化し実践的な英語が学べる。子どもたちが多様な文化を理解できるグローバルな人材に育つように近隣他市に先駆けて導入すべきではないか。



答 すでに取り組んでいる市、町の状況や費用対効果を参考に教職員の意見も聞きながら、調査研究していく。

姫新線の駅員代行について

問 昨年の12月から姫新線の駅員が不在となっている。学生や沿線住民のためにも、本市において駅員の業務に取り組んではどうか。

答 新幹線の特急券などもネット予約の購入が主流で、かつ、イコカ利用者の増加により窓口での切符購入は激減している。今後JR西日本に対し、無人駅であっても快適に利用できる環境の充実を要望していく。

Q&A 野生鳥獣による人身被害発生時の自治体対応について



柴田 将之 議員
MASAYUKI SHIBATA



問 6月29日のイノシシによる人身被害事案では、市民や学校等への情報提供はどのタイミングでどのような方法で行われたのか。

答 今回の事案については、人身被害事案発生同日に兵庫県警の防犯ネットに掲載され、翌日に御津総合支所、教育委員会事務局、危機管理課と協議の上、地元区長へ情報提供し、御津区長会から近隣住民の皆様へ注意喚起及び農作物の残渣等を適切に処理していただくよう連絡をお願いした。小中学校へは、教育委員会事務局から、児童生徒及び保護者に対し注意喚起の連絡をお願いし、各学校から保護者へメール連絡を実施している。

問 今後に向けてどのような改善点を見出したのか。

答 猟友会との現場確認による対応協議や防災行政無線に

よる市民への注意喚起を徹底するとともに職員によるパトロール実施などの改善を図ったところである。

問 改正鳥獣保護管理法が求める人身被害最優先の観点から初動対応においての改善すべき課題はあるのか。

答 現在、本市においては鳥獣被害防止計画に基づき、関係機関への連絡調整や市民の安全確保、捕獲又は追い払い活動、市民への注意喚起、学校園所との連絡調整を行っているところである。課題としては通報から出動依頼までの初動対応、猟友会員の確保、関係機関との連携と正確な情報の共有、市民への周知、判断の難しさなどが考えられる。今後は、有害鳥獣による人身被害の未然防止、発生時の被害軽減及び制度活用における初動対応の迅速化など、関係機関との連携を取りながら、危機管理体制の充実を図っていく。

その他の質問事項

●通学時の学生の安全確保について